

平成 27 年 9 月 16 日

長久手市教育委員会教育長
堀 田 まゆみ 様

長久手市学区適正化検討委員会
委員長 坪 井 由 実

長久手市学区適正化について（提言）

このことについて、平成 27 年 8 月 3 日（月）に開催した、第 10 回長久手市学区適正化検討委員会の結果、下記のとおり提言します。

記

提言内容

- 1 市が洞小学校区の児童数は、過去に推計した数値よりも現実には少なくなっている。北小学校区においても、引き続き児童数の動向を見守っていくこと。
- 2 通学時の安全対策において、安心安全課との連携を図るようお願いしたい。
- 3 1,000 人を超える大規模校においては、一人ひとりの子どもに適切な教育支援を行うことができるよう、引き続き、教職員の加配、教育環境等の条件整備において特段の配慮をお願いしたい。
- 4 学校長、保護者、地域住民によるこうした率直な意見交換の場はきわめて重要であるとの認識で一致した。翌年度においても、児童生徒数等の推計などのほか、学習環境についても本委員会で協議をお願いしたい。
- 5 児童数の増加が著しい学区の境界域においては、学区選択制（近隣学校への限定的な学校選択制）の導入など柔軟な対策を検討願いたい。